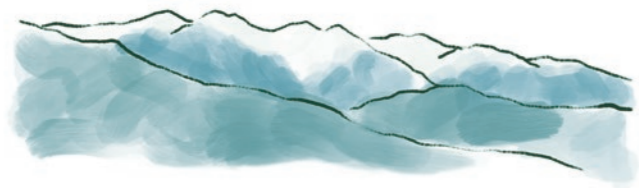




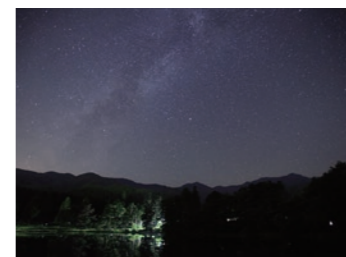
自分らしい生き方や
思い描いた暮らしを
自らの手で紡いでいく
そんなステキなまっかわ暮らし
はじめてみませんか

松川町で 私らしく暮らす

Live as I am in Matsukawa



長野県  松川町



お問い合わせはお気軽に

松川町役場まちづくり政策課

TEL. 0265-36-7014



公式 H.P



Twitter



Facebook



Instagram



ホームページや
SNSで
HOTな情報を
配信中です

松川町って こんなところ

松川町は中央アルプスと南アルプスに囲まれた、のどかな町です。
 町の中央を北から南に天竜川が流れ、東西に広がる段丘では、
 りんごや梨、桃、さくらんぼといった果物の生産が盛んです。
 果物のほかにもりんごを使ったお酒「シードル」や、
 天竜川の綺麗な水で育った、甘く、香り高いお米、
 山では松茸が採れるなど、美味しいものに溢れた町です。
 住むひと親切で、温かなひとが多く、
 移ってきた方、町に戻ってきた方をあたたかく受け入れてくれます。
 また、地元の資源を活かした仕事をされている方や、
 自分のやりたかったことを実現されている方など、
 それぞれが思い描くひとびとの暮らしがこの町では息づいています。



大人も子どもも
冒険できる

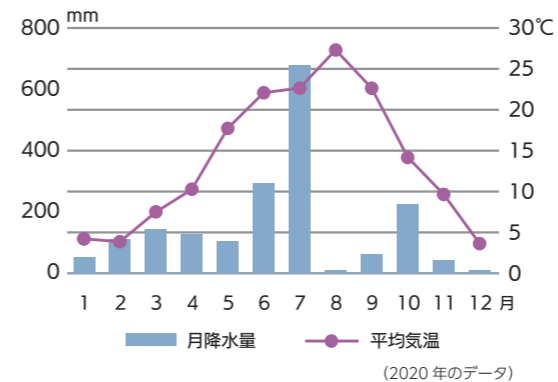
温和で
親切な人が
多い



のびのび
子育て◎

日常の中に
自然がある

【平均気温と月降水量】



【DATE】

- 人口 12,445人
(2021年2月1日現在。長野県毎月人口異動調査結果より)
- 世帯 4,433世帯
- 面積 72.79 km²
- 平均気温 13.4℃
- 最高気温 37.8℃
- 最低気温 -7.3℃
- 年間降水量 1876.5mm
(気温・降水量は2020年のデータ。松川町気観測サイトより)

【気候】

- 夏** 日中日差しは強く感じますが、夜は涼しく冷房をつけずに過ごせます。
- 冬** 氷点下になることもしばしば。雪は降っても平地ではほとんど積もりません。日照時間が長く、日中はぽかぽか陽気。

【交通アクセス】(首都圏からの所要時間)

- ・東京(八王子IC)から約2時間40分
- ・名古屋(名古屋IC)から約1時間40分
- ・大阪(吹田IC)から約3時間40分

松川町の暮らしを教えてください！

松川町での暮らしの魅力のひとつは、「自分たちの暮らしを、自分たちでつくる」ことです。田舎だからできる自分らしい生き方や、思い描いた暮らしを自らの手で紡いでいく。そんな暮らし方も実現可能です。町でも、「生きる」「つくる」「つなぐ」ことがつなごうとした暮らしの実現に向けたプロジェクト「生きる」と「つなぐ」をつなぐMMMプロジェクトを立ち上げました。

今の暮らしやこれからの人生を自らの手で描き、暮らししている方々の移住・Uターンのきっかけや、松川町での暮らしぶりについて紹介します。



MMMプロジェクト



愛知県名古屋から 2017年1月Uターン 細田 俊和 さんとよさん

家族で楽しくできる 永続可能な農業を ふるさと まつかわで

Uターンする前、愛知県で有機農産物を取り扱う会社に勤めていた俊和さんは、自分自身で永続可能な農業をやってみたいという思いが強くなり、早期退職して松川町に戻ってきました。

現在、無農薬、無肥料にこだわったお米と野菜を息子さんと一緒に栽培しています。子どもや孫、そしてその先の世代も、家族で楽しく取り組んでいける農業を少しでも広めていきたいという願いとともに、農業をされています。

俊和さんは2018年に「農業をきっかけにいろいろな人が集える場所をつくりたい」という思いから、商店街に直売

Profile

職業 人と農の交差点 いなほ 店主・生産者
自家農園のお米と野菜や自然酒などの販売の他、田んぼや畑の見学会なども開催。

家族構成 ご夫婦とお子さん4人
(内2人は愛知県在住)

出身 俊和さんは松川町、とよさんは長野県須坂市出身。

田んぼの除草の様子

とよさんの絵

店をオープン。お店には、とよさんが描いた野菜の絵や花の絵などが飾っており、とよさんの絵を見に行くお客さんもいます。

「松川町に帰ってきて、二つのアルプスが見える景色の素晴らしさに改めて気づきました。そして、松川町には自分の夢に向かつて頑張っている人が多いことに気づきました。この美しい自然の中で、田んぼや畑のある生活ができることに幸せを感じています(俊和さん)

人と農が交差するお店には、今日も農業でつながる新たな交流の輪が広がっています。



神奈川県小田原市から 2007年5月移住 正井 広昭さん 亜樹さん

地元で育った木材を使い お施主さんに寄り添い 理想の家をつくる

広昭さんは山が好きで、伊那谷で田舎暮らしをしたいと移住先を探していました。「自然が豊かで、交通の便も悪くない、暮らしにちょうどいい町」と松川町への移住を決めました。

現在、山間の地に友人に手伝ってもらい自分たちで建てた家に暮らししており、その家の窓からはのどかな里山の景色を眺めることができます。地元の木をふんだんに使ったこだわりの家はぬくもりがあり、家族の明るい笑顔が絶えません。憧れの田舎暮らしを楽しんでいます。

広昭さんは、セルフビルドをサポート

Profile

職業 正井建築 代表
セルフビルドや古民家リノベーション、地元の木材にこだわったモノづくりを実践中。

家族構成 ご夫婦とお子さん1人
自然に囲まれ、暖かくぬくもりのある家で、家族3人、田舎暮らしを楽しんでいます。

出身 広昭さんは兵庫県、亜樹さんは神奈川県出身。

するという方法でお施主さんと一緒に家を建てる仕事をしています。会社の事務は頼れる亜樹さんが担当。セルフビルドは自らの手と頭を使うことで暮らしをつくる喜びがあります。「コストが抑えられることもあり、町に移住した若い世代から人気です。また、地域で育った木で建てる家が、その地域の風土や文化と調和して長持ちするという考えから、地元の檜や杉、赤松などの木材を主に使っています。

「親切で優しいひとが多い町です。この町でそれぞれの暮らしを大切にしつつ、自立しているけど仲良く助け合う暮らしをこれからも大切にしていきたい」(広昭さん) 自分たちの暮らしを自分たちでつくりながら、地域で、助け合う暮らしが営まれています。



富山県富山市から 2013年3月Uターン 篠田 阿依さん 陽平さん

多世代が交流し 地域密着のネットワークで 子どもたちを見守っていききたい

県外で教員をしていた阿依さんは、教育の場を通して「地域で子どもを中心にした多世代が交流する場や子ども居場所をつくりたい」とそれを「ふるさとに恩返しをしたい」という気持ちもあり、Uターンを決意しました。

現在、NPO法人Hugの理事長として、こどもカフェや多世代交流カフェ等の運営を仲間と行っています。活動を支援してくれる町民の方や地元企業も多く、無農薬で育った新鮮な食材を提供してくれる農家さんや、学習サポートしてくれる退職した教員の方もいます。地元の高校生もカフェの運営を手伝ってくれ

Profile

職業 NPO法人Hug(ハグ) 理事長
多世代交流カフェ、こどもカフェの運営のほか、学習サポートや体験イベントの主催などを行っている。

家族構成 ご夫婦とお子さん1人
休日はこどもと公園にピクニックにお出かけ。現在、陽平さんと家に小さな庭をつくらうと計画中。

出身 阿依さんは松川町、陽平さんは長野県飯田市出身。

栄養満点メニュー

ており、幅広い世代の方がそれぞれの知識や経験を活かしながら、地域密着のネットワークで子どもたちを見守っています。

「都会にない田舎の良さは、旬の食材を旬の時に子どもたちに食べさせられることです。このことは食育の面で大きなメリットです。新鮮な野菜や作り立てのご飯をこどもカフェでも食べられるのは、都会にない幸せだと思います」(阿依さん)

カフェでは親子ともに、安心してくつろげる穏やかな時間が流れています。

移住者に聞いてみました



松川町のここがいい

- ・2つのアルプスの山並みが綺麗。
- ・安心して自然の中で遊べる。
- ・川の水が綺麗で、川遊びや魚のつかみ取りが出来る。
- ・住みやすく、気楽に楽しく暮らせる。
- ・素直な子どもたちが多く、親切な大人が多い。



移住を決めたきっかけ

- ・中央自動車道のインターが近くにあり便利。
- ・大きな病院があり安心。
- ・ちょっとした買い物は地元で足りる。
- ・町内外の高校に、電車で通える。
- ・公立の学校に歩いて行けるし、バスもあるので安心して子どもを学校に通わせられる。

松川町
暮らしのQ&A

❗ 買い物はどこに行くの？

A コンビニやスーパーが近くにあり、ちょっとした買い物は町内ですみます。近隣の市町村に、大型のホームセンターや量販店もあるので買い物には困りません。

❗ 医療機関は？

A 町の中心に総合病院（下伊那赤十字病院）があるほか、個人病院もあります。

❗ 移動手段は？

A 自家用車が主な移動手段となります。循環バスも町内を走っています。

❗ 子育て環境は？

A 子育て支援センター「おひさま」は、生後2ヶ月のお子さんから利用でき、イベントの開催や相談支援を行っています。また、町には5つの保育園があるほか、子どもが遊べる川、ハイキングができる山、自然を学べる体験プログラムもあります。

❗ 仕事は？

A 農業に従事されている方や、工場などで仕事をされている方、近隣の市町村へ仕事に出られている方がいます。

お客様とのつながりや関係を大切にしながら観光農園の新しい姿を

親が農業を楽しそうにしていたのを見て、「自分も将来は農業をやってみたい」と思っていた毅さん。勤めていた大手の証券会社の転勤のタイミングに重なるように、実家の観光農園で新たにシードルの醸造所を造る計画が立ち上がり、Uターンを決意しました。

「松川町は、若手の農業者のつながり『若武者』があり、勉強会や即売会のほか、懇親会もあり、面白く、刺激的なつながりがある」毅さん

毅さんと阿子さんは、新たな取組みとして、りんごの木の下でパーベキュー



愛知県豊田市から 2018年7月Uターン きたざわ つよし 北沢毅さん 阿子さん

Profile

職業 フルーツガーデン北沢・マルカメ醸造所
実家の観光農園「フルーツガーデン北沢」の4代目。2019年12月にオープンしたマルカメ醸造所。アジア最大級の国際シードル品評会「フジ・シードル・チャレンジ2020」でSilver賞を受賞。

家族構成 ご夫婦
実家の観光農園で家族と共に新たな取組みに挑戦中。

出身 毅さんは松川町、阿子さんは千葉県船橋市出身。



岐阜県大野郡白川村から 2017年10月移住 こばやし あきひろ 小林昭広さん 美佳さん

Profile

職業 一般社団法人 南信州まつかわ観光まちづくりセンター
自然体験・滞在交流プログラムの企画・運営をしている。

家族構成 ご夫婦とお子さん2人
自然保育の仲間で、醤油や味噌、梅干し作りなども行っている。
半セルフリノベーションで改修している空き家に2021年春入居予定。自然体験の拠点にもしたい。

出身 昭広さんは三重県、美佳さんは松川町出身。

自然の中での暮らしや子育てを楽しむ

昭広さんは岐阜県白川村で自然学校に勤務していました。その時に現在勤務する南信州まつかわ観光まちづくりセンターの人材募集がきっかけで移住を決意しました。

現在、滞在交流プログラムの企画・運営を行い、地域の資源（人・農・自然）を伝える仕事や、子どもたちに自然体験を提供する活動をしています。

美佳さんは、地域のお母さんたちと「あそびの楽校・森のこどもえん」といった自然体験活動を行っており、休日は運営する自然体験プログラムに家族で参加もしています。

子どもたちは、自然の中で遊びながら考え、学び、生きる力を育んでいます。求めていた自然とのつながりを大切にしたい暮らしを家族一緒にしています。

また「自然の中でのびのび遊びながら子育てをしたい」というご夫婦共通の想いから、町内より自然豊かな地域に転居。春に入居予定の隣の空き家を半セルフリノベーションで改修しながら、家族で食べる分の野菜づくりの準備もしています。

地域の皆さんが子どもたちの世話をしてくれるなど地域との温かいつながりの中で、暮らしに必要なものを自分たちの手でつくりながら、自然とのつながりを大切にしたい暮らしをしています。

中央アルプス

南アルプス

松川町 マップ

教育施設

- 保育園 5つ
- 小学校 2つ
- 中学校 1つ
- 高校 1つ

その他主要施設

- 総合病院 1つ
- 駅 2つ
- 高速IC 1つ

- 🛒 スーパー
- 🏠 コンビニ
- 🍎 直売所
- 🏠 ホームセンター
- 🚗 タクシー
- 🏦 金融機関

お店や病院、施設も整っているので住みやすい環境です

山遊び、川遊び自然いっぱいです

くだもの狩りのお客さんで賑わいます

温泉やスポーツ施設もあり松川町民の憩いの場です



至 東京

至 名古屋

鳥帽子岳 小八郎岳 登山口

松川高等学校

松川北小学校

松川中学校

松川中央小学校

名子中央保育園

福与保育園

大島保育園

上片桐保育園

下伊那 赤十字病院

役場

双葉保育園

中央公民館 文庫

中塚内科 循環器科 医院

部奈展望公園

円満坊

旧松川東小学校

生田支所

間沢川

台城公園

むらやま公園

こどもカフェ

コンビニ

直売所

農村観光交流センター「みらい」

コンビニ

直売所

中央公民館 文庫

コンビニ

直売所

移住体験 促進住宅

交番

スーパー

コンビニ

ホームセンター

コンビニ

スーパー

コンビニ

スーパー

コンビニ

スーパー

コンビニ

屋内スポーツ施設 温水プール

まつかわ 旅の案内所

清流苑

まつかわ 旅の案内所

まつかわ 旅の案内所

まつかわ 旅の案内所

まつかわ 旅の案内所

まつかわ 旅の案内所

まつかわ 旅の案内所

まつかわ 旅の案内所

まつかわ 旅の案内所

まつかわ 旅の案内所

まつかわ 旅の案内所

まつかわ 旅の案内所

まつかわ 旅の案内所

まつかわ 旅の案内所

まつかわ 旅の案内所

まつかわ 旅の案内所

フォレスト アドベンチャー

ワイナリー

池の平湖

中央自動車道

松川IC

松川町

松川町

松川町

移住・定住 お役立ち情報

松川町に興味を持ってくださった皆様に、耳よりな情報をお届け。

まずは
体験から

本格的に
探すなら

step

移住体験

松川町での暮らしを体験したい

移住体験住宅 2棟

松川町での生活を体験したい方向けに、「移住体験住宅」をご用意しています。ご利用は2泊3日から最長29泊30日まで。移住を決める前にもっと松川町のことを知りたい方は、どうぞ体験住宅をご利用ください。

CHECK!



松川町役場 まちづくり政策課 まちづくり推進係
TEL.0265-36-7014

住宅や仕事を探したい

移住促進住宅 3棟

移住体験住宅のほかに、「移住促進住宅」をご用意しています。ご利用は3年（最長5年）以内で時間をかけて住宅や仕事を探すことができます。棟数に限りがありますので、ご希望の方は一度ご相談ください。

step

住まい探し

空き家はあるの？

空き家情報バンク

「空き家情報バンク」とは、町内にある空き家の物件情報を提供し、その空き家の所有者と空き家の利用希望者をつなぐための制度です。

空き家情報バンクに登録のある空き家情報は、町ホームページで公開しています。

松川町役場 まちづくり政策課 まちづくり推進係 TEL.0265-36-7014

CHECK!



住宅を新築・空き家を購入したら補助はあるの？

松川町若者定住住宅取得祝金制度

45歳以下の方が、町内に住宅を取得した場合、1戸当たり10万円（マークンギフトカード）（※1）をお祝い金として交付します。

交付対象の方で、子育て世帯の方やUターン者、町の空き家情報バンク登録物件を購入された方は、10万円に加えて加算金が交付されます。詳しくは町ホームページをご覧ください。

※1 町内の複数の小売店で、マークンカードに加盟している店舗で利用可能な商品券カードです。

松川町役場 まちづくり政策課 まちづくり推進係 TEL.0265-36-7014

CHECK!



step

仕事探し

松川町で働きたい

松川町無料職業紹介所

就職相談、求人・求職の情報等の提供を行う『松川町無料職業紹介所』を開設しています。

松川町役場 産業観光課 商工労働係 TEL.0265-36-7027

CHECK!



step

子育て
支援情報

松川町ではどんな支援事業を行なっているの？

充実した子育て支援



子育て支援センター「おひさま」

子育て中の親子の皆さんの交流の場、子どもたちの育ちの応援の場です。庭全部が緑の芝生で、おひさまファームでは野菜のもぎ取り体験が楽しめます。



やまほいく

野外での遊びや運動で知力と体力を同時に高めることができます。親子で星空やホタルの観察会、野菜の栽培などもします。



あそびの楽校まつかわ

自然体験や外遊びを通じて、創造力とたくましさ、協調性と自立心を養えます。森のこどもえんやサイクリングスクール、スノーキャンプなどもやっています。

町ホームページでは「松川町 子育て住まい仕事施策一覧」のほかに、各事業の紹介をしていますので、ご活用ください。

CHECK!

